

普及項目	その他
漁業種類等	-
対象魚類	-
対象海域	八代海、天草海

新規就業者の確保育成に向けた普及指導

天草広域本部水産課・木下裕一

【背景・目的】

本県では、新規就業者の確保育成を推進するため、平成 25 年度から国の青年就業準備給付金制度を活用した新たな研修制度を整備した。さらに平成 28 年度から県漁連を中心とした県就業支援協議会が、国の長期研修支援制度を活用し、未経験の就業希望者でも円滑に漁業に就業できるよう、長期研修を実施している。

一方、漁業未経験の新人を受入れ、指導、育成する人材が必要であり、地元漁協等と連携した受入漁業者の確保が課題である。

そこで、関係機関と連携した説明会を開催して、受入指導漁業者の発掘を行い、就業希望者との円滑なマッチングに繋げることを目的とした。

【普及の内容・特徴】

新規就業者の確保を推進するため、県就業支援協議会及び平成 29 年に天草市就業支援協議会を設立した天草市と連携し、漁業者及び地元漁協を対象に 12 回の説明会を開催した。

【成果・活用】

6 名の受入指導漁業者を発掘し、就業希望者とのマッチングを行った。その結果、棒受網漁業、魚類養殖業、キビナゴ刺網漁業を対象とした長期研修の実施に繋がった。なお、現在の漁業就業及び研修状況は表 1 のとおり。

継続した就業に繋げるため、天草市等関係機関と連携し、定期的な面会により状況を把握した。受入指導漁業者から、「研修者は一生懸命頑張っている。我々も元気になる。」との声が聞かれ、順調な研修の実施を確認した。

最近、漁業者からは「若く意欲のある将来の担い手を受入れたい。」との声が聞こえ始めており、就業者を受入れたい漁業種類や受入可能人数を明確にする必要がある。

そこで、天草市と連携し、受入対象となる漁業の操業スケジュールや収支金額情報に加え、住居情報等をパッケージにした漁業就業モデルづくりに取り組んでいる。

今後は、当該モデルを基に就業支援フェア等を活用した情報発信を行うとともに、就業希望者とのマッチングを行い、更なる新規就業者の確保に繋げていく。

表 1 現在の漁業就業及び研修状況

No	研修コース	地区	受入指導漁業者の漁業種類	研修者	年齢	研修開始	現状
1	雇成型	天草市牛深	棒受網漁業等	天草市出身男性	18歳	H29年8月	H30年8月：研修終了 棒受網漁就業継続中
2	独立型	天草市牛深	キビナゴ刺網漁業	神奈川県出身男性	25歳	H29年12月	研修継続中
3	雇成型	天草市本渡	魚類養殖業	天草市出身男性	56歳	H29年12月	H30年4月：体調不良のため退職
4	独立型	天草市牛深	キビナゴ刺網漁業	熊本市出身男性	53歳	H30年12月	研修継続中
5	独立型	天草市牛深	キビナゴ刺網漁業	埼玉県出身男性	31歳	H30年12月	研修継続中
6	独立型	天草市牛深	キビナゴ刺網漁業	熊本市出身男性	39歳	H30年12月	研修継続中



写真 漁業者、地元漁協を対象にした説明会の様子
 キビナゴ刺網体験漁業の様子
 受入指導漁業者と就業希望者とのマッチングの様子
 定期的な面談による漁業研修状況調査の様子